

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：鉱工業振興費

### 事業名 スタートアップサポーター支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業イノベーション推進課 電話番号：058-272-1111(内3750)

スタートアップ推進係

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,000 千円 (前年度予算額：4,500 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,500	2,250	0	0	0	0	0	0	2,250
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

経済が低迷し、人口減少・少子高齢化が本格化する中であっても、地域の活力を失うことなく持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを進めるには、県の雇用・所得・財政を支える新たな産業の芽であるスタートアップを生み出し、育成する必要がある。

県内でも令和5年度に産学官等によるぎふスタートアップ支援コンソーシアムが立ち上がるなど、スタートアップを支援する気運が高まりつつある。

この流れを確かなものとし、スタートアップを生み育てる環境を整えていくためにも、コンソーシアム会員によるスタートアップ支援イベントなどの開催を支援し、県内におけるスタートアップ支援事業の充実を図っていく必要がある。

### (2) 事業内容

県内でピッチコンテストやセミナー、アントレプレナーシップ教育など、スタートアップの成長につながるイベント等の開催に要する経費の一部を補助することで、支援事業の充実並びにスタートアップの育成及び気運醸成を図る。

#### ○「岐阜県スタートアップサポーター支援事業費補助金」

[対象者] 県内に拠点をスタートアップ等が参加可能なイベントを県内で開催するコンソーシアム会員

[補助率] 1/2 (上限1,500千円)

[補助対象経費] 施設・付帯設備等使用料、会場設営・運営費、広告宣伝費

### (3) 県負担・補助率の考え方

県内の起業に対する気運醸成を図ることで、新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手を創出することは県経済の振興につながるものであり、県負担は妥当。

国負担1/2、県負担1/2。

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,000	岐阜県スタートアップサポーター支援事業費補助金 (1,000千円×8件)
合計	8,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県経済・雇用再生戦略 1－(3) イノベーションを牽引するスタートアップの創出支援の強化

「清流の国ぎふ」創生総合戦略 3－(2)－③県内産業の活力の強化と新事業展開の推進

### (2) 国・他県の状況

東京都で金融オープンイノベーション補助金を実施。

### (3) 後年度の財政負担

県経済の振興につながるものであり、県負担で実施していく。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県内でスタートアップ企業を支援することは、産業の活性化、雇用の創出など地域の活性化を促進するものであり、当該経費を支出することは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

スタートアップ支援組織に対し、県内でイベントを開催する経費を支援することで、起業に対する機運向上とスタートアップが生まれる環境を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①補助金を活用した支援イベントの開催数			3	11	35	
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<b>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ぎふスタートアップ支援コンソーシアムが設立するなど、オール岐阜でスタートアップを支援する気運が高まりつつあり、事業継続が必要。
<b>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	補助金を活用することで、新しくイベントが開催されるほか、開催場所を県外から県内へ移すイベントも出るなど、事業の成果が出ている。
<b>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県HPでの周知以外に、ぎふスタートアップ支援コンソーシアムを活用して広報することで、効率的な周知が行われた。

### (今後の課題)

<b>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 国の動向や他県(愛知県)などの取組みについても参考にしながら、スタートアップ支援組織によるスタートアップ支援イベントの効率的な支援方法を検討する。
---

### (次年度の方向性)

<b>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 県内の起業に対する気運醸成を図り、新産業・新サービスなど、新たな地域経済の担い手を創出することは県経済の振興につながるものであり、継続して事業に取り組んでいく。
---